

9 主権者教育

【主権者教育の目的】

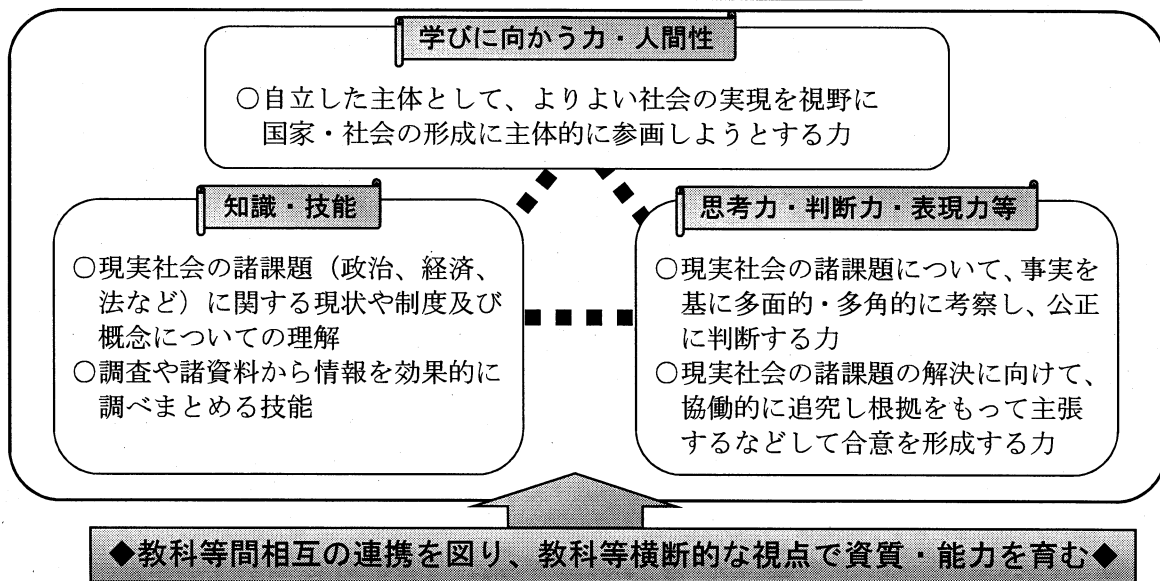
単に政治の仕組みについて必要な知識を習得させるとどまらず、主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる力を身に付けさせる

(主権者教育の推進に関する検討チーム最終まとめ 平成28年6月)

【主権者教育の充実が求められる背景】

- ・多様性が高まる社会において、主権者として、自立した人間として、適切な判断・意思決定をして社会参画することが求められている。
- ・公職選挙法の一部改正による18歳への選挙権年齢の引き下げにより、小・中学校からの体系的な主権者教育の充実が求められている。

1 主権者教育で育成をめざす資質・能力



2 教育課程編成上のポイント

【具体的な問題を取り扱う】	【体験的・実践的な活動を行う】
<p>発達段階に応じて、具体的な事例を取り上げることで、課題を自分のこととしてとらえ、現状や事実を正しく認識し、自分なりの解決の方策を追究できるようにする。</p> <p>〔例〕小学校 第6学年 社会科「わたしたちのくらしと日本国憲法」(2内容(1)ア)</p>	<p>児童生徒自身が、学校や地域での生活をよりよくするために、生活上の諸問題を発見・解決したり、諸活動を計画・運営したりすることを通して、主体的に社会参画することの意義や価値を感得していく学習を積み上げる。</p> <p>〔例〕中学校 第3学年 特別活動「地域に貢献しよう」(生徒会活動(1))</p>
【専門家や資料等を活用する】	【家庭・地域との連携】
<p>専門家、関係機関との連携、新聞や専門的な資料等の活用によって、実践的な活動を行う。</p> <p>〔例〕中学校 第3学年 社会科「現代の民主政治」C私たちと政治(2)イ</p>	<p>家庭や地域と連携し、教科等での学習を家庭・地域に広げ、家庭や地域での生活に主体的に参画する取組を促進する。</p> <p>〔例〕小学校 第4学年 社会科「ごみのしよりと利用」3内容(2)イ</p>

3 新学習指導要領における主権者教育

新学習指導要領における「主権者に関する教育」について育成を目指す資質・能力に関する各教科等の内容（主要なものを抜粋）

※下線部分は、新学習指導要領において追加、変更等のあった内容

小学校	中学校
<p>●総則 第2の2</p> <p>(2)各学校においては、児童や学校、地域の実態及び児童の発達の段階を考慮し、豊かな人生の実現や災害等を乗り越えて次代の社会を形成することに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断的な視点で育成していくことができるよう、各学校の特色を生かした教育課程の編成を図るものとする。</p>	<p>●総則 第2の2</p> <p>(2)各学校においては、生徒や学校、地域の実態及び生徒の発達の段階を考慮し、豊かな人生の実現や災害等を乗り越えて次代の社会を形成することに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断的な視点で育成していくことができるよう、各学校の特色を生かした教育課程の編成を図るものとする。</p>
<p>●社会科(第2 各学年の目標及び内容)</p> <p><第3学年></p> <p>3(3)イ 社会生活を営む上で大切な法やきまり (※2(3)イ(7))</p> <p>3(4)イ <u>市が公共施設の整備を進めてきたこと</u> <u>租税の役割</u>(※2(4)イ(7))</p> <p><第4学年></p> <p>3(1)オ 社会生活を営む上で大切な法やきまり (※2(2)イ(1))</p> <p>3(2)イ 県庁や市役所の働き(※2(3)ア(7))</p> <p><第5学年></p> <p>2(2)イ(7) 食料生産が国民生活に果たす役割</p> <p>2(3)イ(7) 工業生産が国民生活に果たす役割</p> <p>2(4)イ(7) それらの産業が国民生活に果たす役割</p> <p>2(5)ア(7) 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたこと</p> <p>3(2)イ <u>消費者や生産者の立場</u>などから多角的に考えて、<u>これからの農業</u>などの発展について、自分の考えをまとめること(※2(3)イ)</p> <p>3(3)イ 消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、<u>これからの工業</u>の発展について、自分</p>	<p>●社会科</p> <p>【地理的分野】</p> <p>C(4)ア(7) 地域の実態や課題解決のための取組を理解する</p> <p>C(4)ア(イ) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解する</p> <p>【歴史的分野】</p> <p>C(1)ア(7) 欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出</p> <p>C(1)ア(7) 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上</p> <p>C(1)ア(オ) 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き</p> <p>C(1)イ(7) 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、ア</p>

<p>の考えをまとめること(※2(3)イ)</p> <p>3(4)イ 産業と国民の立場から多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について、自分の考えをまとめること(※2(4)イ)</p> <p>3(5)ウ 国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできる(※2(5)イ(ウ))</p> <p><第6学年></p> <p>2(1)ア(ア) 日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること</p> <p>2(1)ア(イ) <u>国や地方公共団体の政治は、国民主権</u>の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていること</p> <p>2(1)イ(ア) 我が国の民主政治 日本国憲法が国民生活に果たす役割 国会、内閣、裁判所と国民との関わり</p> <p>2(1)イ(イ) 国や地方公共団体の政治の取組 国民生活における政治の働き</p> <p>3(1)ア <u>国会などの議会政治や選挙の意味</u> 国民としての政治への関わり方について多角的に考えて(※2(1)ア(ア))</p> <p>3(1)イ 参政権、納税の義務(※2(1)ア(ア))</p> <p>3(1)ウ 社会保障、自然災害からの復旧や<u>復興、地域の開発や活性化</u>などの取組の中から選択して取り上げる(※2(1)ア(イ))</p>	<p>の(ア)から(カ)までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する</p> <p>C(2)ア(ア) 冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められた(※C(2)ア(ア))C(2)イ(ア)</p> <p>C(2)イ(ア) 諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付ける 現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する</p> <p>3(3)ア <u>ギリシャ・ローマの文明について、政治制度など民主政治の来歴の観点から取り扱う</u>(※B(1)ア(ア))</p> <p>【公民的分野】</p> <p>B(2)ア(ア) 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実、消費者の保護について、それらの意義を理解する</p> <p>B(2)ア(イ) 財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解する</p> <p>B(2)イ(ア) 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する</p> <p>C(1)ア(ア) 人間の尊重についての考え方</p> <p>C(1)ア(イ) 法に基づく政治</p> <p>C(1)ア(ウ) 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること</p> <p>C(1)イ(ア) 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する</p> <p>C(2)ア(ア) 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解する</p> <p>C(2)ア(イ) 議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方</p> <p>C(2)ア(ウ) 法に基づく公正な裁判の保障</p> <p>C(2)ア(エ) 地方自治の基本的な考え方 地方公共</p>
--	---

	<p>団体の政治の仕組み、住民の権利や義務</p> <p>C(2)イ(ア) 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する</p> <p>3(4)ア 裁判員制度(※C(2)ア(カ))</p>
<p>●特別の教科 道徳 第3</p> <p>2(6)身近な社会的課題を自分との関係において考え、それらの解決に寄与しようとする意欲や態度を育てよう努める</p>	<p>●特別の教科 道徳 第3</p> <p>2(6)科学技術の発展と生命倫理との関係や<u>社会の接続可能な発展などの現代的な課題</u>の取扱いにも留意し、身近な社会的課題を自分との関係において考え、その解決に向けて取り組もうとする意欲や態度を育てよう努める</p>
<p>●特別活動 第2</p> <p>【学級活動】2</p> <p>(1)ア 生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践する</p> <p>(1)イ 児童が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践する</p> <p>(3)イ 自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動する</p> <p>【児童会活動】2</p> <p>(1)児童が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践する</p> <p>【学校行事】2</p> <p>(5)ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにする</p>	<p>●特別活動</p> <p>【学級活動】</p> <p>(1)ア 生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践</p> <p>(1)イ 生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践する</p> <p>(3)イ 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動する</p> <p>【生徒会活動】</p> <p>(1)生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践する</p> <p>【学校行事】</p> <p>(5)ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにする</p>

4 単元等配列例

※
(


		4月	5月	6月	7月	9月	
小学校	1年	(特)とうぼんとかかり	(道)おかしくないかな		(道)ぼくは、きゅうしょくとうぼん (特)愛校活動	(道)じしんがおきて	(特)
	2年	(特)とうぼんとかかり	(道)黄色いベンチ	(道)水の広場	(道)森のみんなと (特)愛校活動		(特)
	3年	(道)あめ玉 (特)そうじのしかた	(道)フローレンス・ナイチンゲール物語	(社)市の様子	(道)わらじ作り (特)愛校活動	(社)店ではたらく人 (道)目の見えない犬	(道) (特) (社)
	4年	(社)火事からくらしを守る (特)クラブ活動	(社)事故や事件からくらしを守る (道)道子の赤い自転車	(道)雨のバス停留所で	(道)かべに付けた手のあと (特)愛校活動	(社)ごみのしよりと利用	(特)
	5年	(特)委員会の仕事	(道)もったいない	(道)お客様	(道)この思いをフェルトペ ンにたくして (特)愛校活動	(社)これからの食料生産と わたしたち	(道) (特)
	6年	(社)震災復興の願いを実現する政治 (特)委員会の仕事	(社)わたしたちのくらしと 日本国憲法 (道)チョモランマ清掃登山隊		(道)マザー・テレサ (特)愛校活動 (社)国の政治のしくみ		(特) 6年 なり
中学校	1年	(特)仕事の分担 (特)生徒総会 (特)学級目標を決めよう (特)委員会、係活動の充実を図ろう	(道)キャッチボール	(歴)人類の登場から文明の発生へ (道)長縄跳び	(道)そうじの神様が教えてくれたこと (特)地域に貢献しよう	(特)生徒会役員選挙	(特) 功さ (道)
	2年	(特)仕事の分担 (特)生徒総会 (特)学級目標を決めよう (特)委員会、係活動の充実を図ろう	(道)昼休みの自由		(道)ごみ箱の中の町 (特)地域に貢献しよう (特)職場体験	(道)三度目の号泣 (特)生徒会役員選挙	(歴) 近 (道)
	3年	(特)仕事の分担 (特)生徒総会 (特)学級目標を決めよう (特)委員会、係活動の充実を図ろう	(歴)敗戦から立ち直る日本 (道)一針一針	(歴)世界の多極化と日本の成長 (道)二通の手紙	(道)蕨のとう (特)地域に貢献しよう	(公)人権と日本国憲法 (公)人権と共生社会 (特)生徒会役員選挙	(公) (公) (公) (道)

※ (社) 社会 (道) 特別の教科 道徳 (特) 特別活動 (地) 地理的分野 (歴) 歴史的分野 (公)

※例に取り上げた教科書及び副読本 小学校社会：東京書籍 小学校特別の教科 道徳・中学校道徳：学研

※学級活動(1)については、合意形成する過程すべてが主権者教育で求められる資質・能力の育成に関わ

教科等間相互の連携を図り、教科等横断的な視点で資質・能力を育むことが大切です。
 例) 特別活動で学校をよくするための清掃活動を行うのに合わせて、道徳では内容項目C
 「主として集団や社会との関わりに関すること」の「勤労、公共の精神」を扱います。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
)学級会議			(道) みっちゃんのやくそく		
)学級会議	(道) オレンジ色の木のみ		(道) みんなのニュースが かり		
)なかよしポスト)学級会議)農家(工場)の仕事			(道) 家のパソコンで		
)学級会議			(道) 神戸のふっこうは、ぼ くらの手で		
)うばわれた自由)学級会議	(社) これからの工業生産と わたしたち	(社) 情報産業とわたした ちの暮らし		(社) 環境を守るわたしたち	
)学級会議				(道) ラグビー日本代表の かがやき	
<p>社会科では、政治と歴史を学ぶ順番を入れ替え、政治の学習を先に行うことができました。これは、児童に主権者としての意識を育むことに配慮したものです。</p> 					
)合唱コンクールを成 せよう)シカト	(道) 一枚のピース	(道) 傘の下		(道) オーストリアのマス川	
)欧米諸国における 代化」)山に憑かれた男	(歴) 近代国家への歩み (歴) 帝国主義と日本 (道) 張君の笑顔		(道) 誰が犯人？	(地) 地域を探ろう	(歴) 第一次世界大戦と民 族独立の動き
現代の民主政治 国の政治の仕組み 地方自治と私たち 五井先生と太郎	(公) 消費生活と経済 (公) 政府の役割と国民の 福祉	(道) よみがえった笑顔 (特) 中学生議会		(道) 江戸しぐさは心のマ ナー	

阪神淡路大震災の起きた時期に合
せて配列しています。

社会科で政治参加と選挙について学んだ後、地方議
会の協力を得て特別活動で議会体験をします。

公民的分野

中学校社会 地理・歴史：帝国書院 公民：東京書籍
 。

5 授業実践例

小学校 第6学年「わたしたちの暮らしと日本国憲法」 内容(1)ア イ

◆単元のねらい

日本国憲法と我が国の政治や国民生活との関連に関心をもち、日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりを考える。

◆展開例(一部)

学習活動	主な発問と児童の反応	教師の支援
1 本時のめあてを確認する。	国民主権につながる市の施策について、考えをまとめよう。	○日本国憲法の基本的原則について確認する。
2 調べてわかったことをもとに、国民主権と自分たちの暮らしのつながりについて話し合う。	○国民主権と私たちの暮らしは <u>どのようにつながっている</u> のでしょうか。 ・市民が政治家を選ぶ選挙の仕組みがあり、18歳以上の市民なら誰でも参加することができます。 ・市民の声で、町のバリアフリーが実現したと聞きました。 ○国と市を比べるとどうでしょうか。 ・国でも市でも同じように、国民主権の考えが取組に生かされています。	○国民主権と身近な例を並べて板書し、関連に気づくようにする。
3 考えたことを書く。	○国民主権と私たちの暮らしの <u>つながり</u> について考えをまとめましょう。	○具体例を取り上げたり、国と市を比較したりすることで、「国の主人公は国民であり、自分自身もその一員である」と意識できるようにする。
4 本時のまとめをする。	・国や市の政治の中心にいるのは国民であるという自覚をもって、政治に関心をもちたいと思います。	

【主権者教育との関わり】

日本国憲法の基本的原則や政治機関等、子どもが身近に感じにくい事柄について、国民主権の視点で考えることでつながりが意識しやすくなります。身近な具体例を調べることをスタートとし、国民主権と関連付けて、我が国の政治が日本国憲法に基づいていることに気づくようにします。

中学校 特別活動「地域ボランティア活動を振り返ろう」 学級活動(3)

◆活動のねらい

ボランティア活動を企画・実践することを通して、地域の一員としての自覚を高め、ボランティア活動の大切さを実感するとともに、地域をはじめとした様々な場で生徒が自主的・主体的に貢献活動に取り組むことができるようにする。

◆展開例(一部)

学習活動	主な発問と生徒の反応	教師の支援
1 本時のめあてを確認する。	ボランティア活動を振り返り、その意義を知り、学校や地域で自分にできるボランティア活動を考えよう。	○これまでに生徒が活躍した例を賞賛し、活動への意欲を高める。
2 ビデオを見ながらボランティア活動を振り返る。	○エピソードや周りの人の様子、会話について具体的に話し合いましょう。 ・地域の方の指示を受けることが多かった。	○自分の思いが表現しやすくなるように小グループで話し合わせる。
3 地域の方の話を聞いて、感じたことを交流する。	○地域の方の工夫や努力を知って感じたことを話し合いましょう。 ・何のためにやるのかという目的意識をもって行うことが大切だとわかった。 ・自分も地域の一員として地域を支える存在だと思った。	○地域の方の思いや大事なことを整理して板書する。
4 本時のまとめをする。	○学校や地域で今、自分にできるボランティア活動を考えましょう。 ・校内や登下校でごみを拾う。 ・募金活動をしよう。	○話し合いがスムーズに進むよう、話し合いのポイントを示す。 ○地域社会に役立っている実感を押さえる。

【主権者教育との関わり】

地域の中で互いに協力し合い、役割を果たすことは、社会の中で主体的に生きる豊かな人間性を培うとともに、自分を見つめ直し自己実現に向かって人生を切り拓く力を育てる上で重要です。よりよい地域にしていくために、話し合いによってボランティアの意義を考え、地域の方との交流から自己有用感を味わうことを通して、生徒の主権者意識や社会参画意識を高めます。